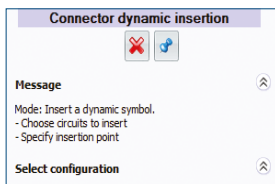


SOLIDWORKS 2019の新機能 - ECAD

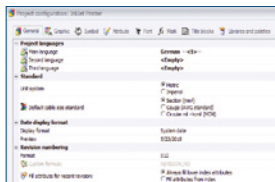


1 ダイナミック コネクタ構成管理の強化

- グラフィカルな分割設定でかん合コネクタ ペアをサポートし、ダイナミック コネクタの挿入が強化されました。

メリット

セグメント化およびかん合コネクタの挿入を合理化・簡素化できます。



2 単位系の変更機能を強化

- 寸法の単位系を自由に変更できます。ワイヤ、ケーブル、メーカー部品のプロパティで、寸法の表示単位（ミリメートルまたはインチ）を選択できます。

メリット

プロジェクト内での寸法単位の定義と変更が合理化・簡素化されます。

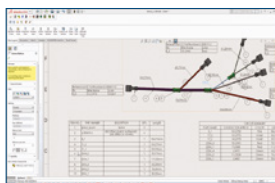


3 生成されたレポート図面とエクスポートされたPDFファイルに自動生成リンクを追加

- 生成されたレポートに、BOM/レポート構成部品のアクセスリンクを追加できます。レポートでリンクを設定すると、レポート図面に自動的に生成されます。
- BOM/レポート構成部品のアクセス リンクとともにPDFファイルをエクスポートし、生成されたPDF図面に移動できます。

メリット

レポートおよびPDF図面内で、合理的かつシンプルにBOM/レポート構成部品に移動できます。

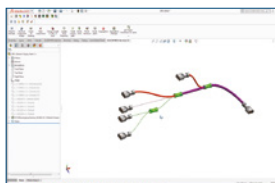


4 ハーネス展開図面でのテーブル、BOM、DOCの表示を強化

- 正確で簡潔な展開ルート図面と関連テーブルを自動的に生成します。BOM、回路の概要、コネクタ テーブルなどのテーブルに表示されているすべての情報を、回路図データごとに展開ルート図面に提示できます。

メリット

回路図データに基づいて、展開図面のテーブルと文書を合理化・簡素化された方法で作成できます。

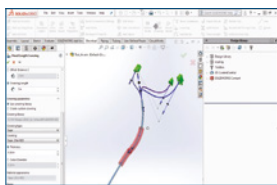


5 SOLIDWORKS ELECTRICAL 3Dでのスプライス

- SOLIDWORKS® Electrical Schematicsのスプライスを効果的に使用し、通過回路シンボルを駆使して、スプライスの両面で等電位の回路を提示できます。その回路図を3次元に移行し、効果的な展開ルート機能とともに、さまざまなオートルートオプションを使用してルーティングできます。

メリット

回路図に基づくスプライスを3次元で使用し、自動テーブル作成により展開・文書化できます。

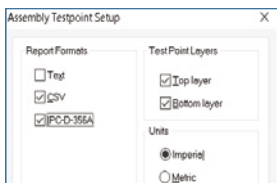


6 部分的または固定長カバー

- ルートのさまざまな場所と要素で、部分的または固定長カバーを効果的に作成できます。

メリット

合理化・簡素化された方法で、ハーネス、ケーブル ソックスやラベル タグ(インライン)などのインライン機能の部分的または固定長カバーを作成できます。

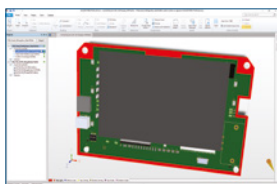


7 IPCネットリスト出力 (SOLIDWORKS PCB)

- IPCネットリストでGerber出力を補完し、電気接続情報をプリント基板(PCB)メーカーに製造情報セットの一部として提供することなどができます。

メリット

Gerberは接続情報がないため、IPCネットリストはボード製造者が比較するのに役立ちます。また、ユーザーが提供するGerberデータやPCBメーカーによって変更されたGerberデータを検証し、製造前にCADの設計データとの一致を確認できます。

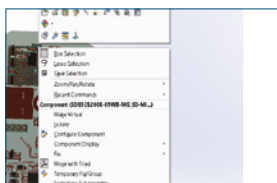


8 メカ設計主導のPCB部品配置バリア (SOLIDWORKS PCB)

- プリント基板(PCB)上の電子部品の配置制限をSOLIDWORKS 3D CADで定義し、SOLIDWORKS PCBコネクタを介してSOLIDWORKS® PCBに渡すことができます。こうした配置制限をPCBの表面に適用することも、高さ制限のためにオフセットすることも可能です。3D CADからの配置制限は、SOLIDWORKS PCBで配置バリアとして表示されます。

メリット

SOLIDWORKS使用の機械設計者は、設計段階に必要な配置制限を電子的にコミュニケーション、コントロール、検証できます。その結果、正しいボードおよび筐体の形状と整合性を確保することができ、ECAD-MCADワークフローをさらに合理化できます。

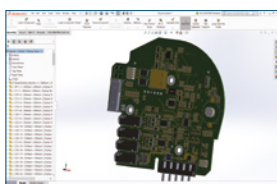


9 構成部品ロック/固定状態のコラボレーションサポートと、すべてに対応するフリップ変化の3Dアノテーション

- SOLIDWORKS PCBコネクタによるECAD-MCADコラボレーションが、電子構成部品のロック/固定状態の受け渡しをサポートするように強化されました。さらに、電子部品をPCBの片面から反対側の面に反転し、Z軸にその変化を反映できます。

メリット

SOLIDWORKS機械設計者向けの追加機能が追加され、SOLIDWORKS 3D CADにおける電子部品の位置を変更できます。また、PCBレイアウト段階で誤って変更されないように、電子部品の正しい位置を細かくコントロールできます。



10 銅の視覚化 (SOLIDWORKS PCB)

- SOLIDWORKS PCBによるECAD-MCADコラボレーションが強化され、PCBの銅要素をSOLIDWORKS 3D CADで視覚化できるようになりました。

メリット

SOLIDWORKS使用の機械設計者は、SOLIDWORKS 3D CADで電子部品の位置を変更する際に、銅箔とパッドを確認できるようになりました。最適な構成部品の位置を判断するための意思決定プロセスに役立ちます。

ダッソー・システムズの3Dエクスペリエンス・プラットフォームでは、12の業界を対象に各ブランド製品を強力に統合し、各業界で必要とされるさまざまなインダストリー・ソリューション・エクスペリエンスを提供しています。

ダッソー・システムズは、3Dエクスペリエンス企業として、企業や個人にバーチャル・ユニバースを提供することで、持続可能なイノベーションを提唱します。世界をリードするダッソー・システムズのソリューション群は製品設計、生産、保守に変革をもたらしています。ダッソー・システムズのコラボレーティブ・ソリューションはソーシャル・イノベーションを促進し、現実世界をより良いものとするためにバーチャル世界の可能性を押し広げています。ダッソー・システムズ・グループは140カ国以上、あらゆる規模、業種の約22万社のお客様に価値を提供しています。より詳細な情報は、www.3ds.com (英語)、www.3ds.com/ja (日本語) をご参照ください。



3DEXPERIENCE®